

広報

なまじん

7

1992

No.200

村章

毎月1日発行



今帰仁村の人口

平成4年5月31日現在



男 4,781 (+7)



女 4,825 (-3)



世帯数 3,099 (+4)

村の人口 9,606 (+4)

古宇利架橋建設早期実現の立看板設置 来年度予算計上めざして

古宇利架橋建設の早期実現を、村民をはじめ村外の方々にも強力にアピールしようと、役場前と運天港の第八古宇利丸発着所前に立看板を設置しました。

平成四年度は、これまでのたびかさなる要請活動をいかし、悲願の架橋実現、「一日も早く実現してほしい！このままでは、十年あるいは二十年后には、島に子供はいなくなるのではないか！'と言う古宇利区民の声を大事にしながら進めていきます。

今後は、国の予算確保において、県と事務レベル作業も平行して、村道としての条件整備を進め、「誰もがいつでも行ける島づくり」の実現に向けて実施することになります。

村民のみなさんのご協力をお願い致します。

海神祭

航海の安全と 豊漁を祈念 渡喜仁消防団強し!



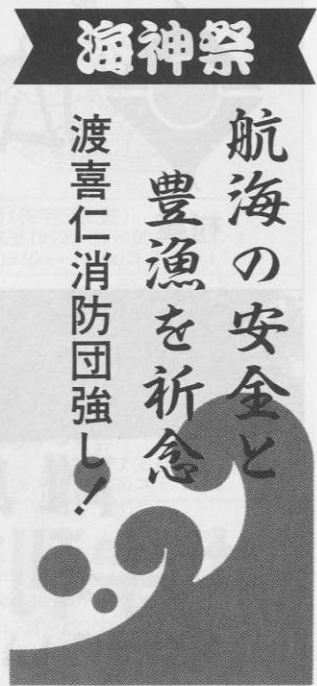
▲スタートダッシュ

航海の安全と豊漁を祈念する海の祭典「海神祭」が六月四日午後二時から運天港で行なわれた。

海神祭は、毎年旧五月四日

(ユッカヌヒー)に漁業協同組合主催で行なわれるもので、今年は天気にも恵まれにぎわいをみせた。

上間博安村長のハリーリ鐘



で祭典の幕が開いた。

漁協組合員による御願バリーがスタート。二隻のハリーリ舟に分かれて熱戦、つづいて職域ハリーリ九チーム(商工会・アメリカハウス・渡喜仁消防団・役場・上運天消防団・北部製糖・JA今帰仁村・運天クラブ・漁協養殖チーム)が参加して予戦が行なわれた。

決勝には、渡喜仁消防団・上運天消防団・運天クラブの上位三チームが進出。

チームワークと経験豊富な渡喜仁消防団が四分五秒で三連勝を飾った。

渡喜仁消防団の監督真喜志重弘さんは「今年には思うように練習が出来ず優勝は無理と思ったが、勝ててうれしい。チームワークの勝利です」と優勝の喜びを語っていた。

その後、マリゼットなどのアトラクション及び沖縄角力大会があり会場から盛んな声援がとんだ。

- 沖縄角力の結果
- 優勝―玉城好明(名護)
 - 二位―謝花喜幸(渡喜仁)
 - 三位―宮城宏一(古宇利)

今帰仁村まつり・八月二十九日(土)・八月三十日(日)

建設業協会

北山高校へ寄付

人材育成に期待



▲渡久山会長より阿波連校長へ寄付金贈呈

今帰仁村建設業協会(渡久山祐一会長)は、北山高校を訪ね「平成四年度よりスタートした理数科の設置に伴い、教材や器材等購入費用の手助になれば」と二十万円を寄付した。

寄付金贈呈は、応接室で行なわれ、席上、渡久山会長は「協会のモットーは、地域への貢献、還元であり、北山高校の人材育成の為に役立てば」と語った。

これに対し、阿波連本昌校長は「多額の寄付金があったらありがたいが、志を大切に有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べた。

平成四年度商工会総会

自然豊かな今帰仁村を！

アピールしようをスローガンに！

平成四年度の今帰仁村商工会(仲原孝夫会長)通常総会が五月二十八日会員五十名が出席して商工会ホールで行なわれた。

総会では、平成三年度事業報告、収支決算、平成四年度事業計画、収支予算及び運営規定の一部改正があり原案どおり可決された。

総会では、三年度の総括的概要として、バブル経済の崩壊などにより経済成長の見通しがない経済情勢

の中で、商工会は企業の安定と発展を図る為経営普及事業を推進し、商業活性化に結び付ける事業を展開、会員の理解と協力を仰ぎ経済変化に対応できる企業育成並びに地域商業者振興に邁進して行きたいとしている。

また、平成四年度事業計画として、

①総合振興対策②商業振興対策③観光振興対策④福利厚生対策⑤経営改善対策⑥金融対策⑦青年部婦人部対策⑧リゾート開発⑨税務対策⑩表彰事業⑪フタオチヨウ保護育成⑫商工会設立二十周年記念誌発行などの事業を実施していくことになっている。

その後、従業員表彰も行なわれ、石嶺次郎さん・玉城久義さん(二十五年勤続)外二十三名が表彰を受けた。



農業を振興し組合員の農業所得の向上を図るかが課題



今帰仁村通常総会

▲生産性の高い農業をめざそう

また上間博安村長をはじめ来賓の方々からも祝辞がおくられた。

総会では、平成三年度事業報告、平成四年度事業計画のほか、本年度基本方針として農家所得向上を実現するため、農業生産構造の再編対策、施設の効率利用等への取り組みの普及推進、機械銀行を設立し農作業受委託等の事業推進、地域農業の効率的生産体制の確立など、盛りたくさんの内容がおりこまれた。

また、農産物輸入自由化の拡大等、国際経済の動向に対応する為、平成三年度を基準年度とし、目標年度の平成六年度に向けて地域農業振興三ヶ年計画書を作成し、生産性が高い足腰の強い農業を確立して全組合員が合意のもとに「本村農業の振興方策」を策定し強力に実施を図っていくことになった。

その後、優良生産農家として、与那嶺進さん外五十四名の個人と貯金、共済部で字仲宗根・謝名・呉我山・湧川・天底が表彰された。

総会終了後、座喜味チエコ琉舞道場御一行外による民謡琉球舞踊が披露されにぎわいをみせた。

J A今帰仁村(与那嶺勝組 合長・組合員二千二百五十三人)の平成四年度通常総会が、五月二十八日午後二時より今帰仁村コミュニティセンターホールで組合員七百五十人が出席する中盛大に行なわれた。

農産物の国際化が進展する中で長期的干ばつ等厳しさは、一段と増し農家経済に多大な影響を与えました。今後は、地域農業振興計画を實踐し生産性の高い農業の確立と農協活動事業方針に基づく農業振興対策の充実強化に取り組み信頼される農協をめざしたいとあいさつ。

総会のあいさつで与那嶺勝組合長は「県内農業の環境は



北山郷友会ピアノ寄贈記念 大井学コンサート

美しい歌声で村民を魅了



北山郷友会(喜友名盛広会長)からグランドピアノが寄贈されたのを記念して、五月二十四日午後六時より、コミュニティセンターホールにおいて大井学コンサートが行なわれ二百五十人余の村民が美しい歌声に魅せられた。

後とも郷里の活性化の基盤作りに協力していきたい」とあいさつ。

つづいて上間博安村長は「立派なグランドピアノをいただきありがとうございます。これを機会に村の文化活動に活用し、今帰仁に生まれてよかったと思う村づくりをめざしていきたい」とお礼の言葉を述べた。

名北山郷友会会長は「人材育成の為に熱心に取り組んでいる郷里今帰仁の音楽教育の向上に役立ててもらいたい。今

身の大井学さんのほか、砂川弥子さん(浦添市)金城直美さん(豊見城村)・宮城健一さん(名護市)・安次嶺のり子さん(名護市)が出演、大井学さんの解説を交えながらオペラの名曲や「雨降りお月さん」「七つの子」「ふるさと」等情感たつぷりに日本の歌を歌い村民が歌声とピアノ響きを楽しんだ。



▲出演者のみなさん

大井学さん(浦添市)は「立派なグランドピアノをいただきありがとうございます。これを機会に村の文化活動に活用し、今帰仁に生まれてよかったと思う村づくりをめざしていきたい」とお礼の言葉を述べた。



大井学さん

沖縄県子ども会 育成連絡協議会で 表彰 嘉陽さん夫婦 天底・仲宗根 子ども会



▲嘉陽宗敬・智枝子さん夫妻

■村教育委員会

家庭教育学級に 参加しよう!

—子どもを健やかに 育てるために—

「子は親の後姿をみて育つ」と言われるように、親の行動や考え方は子どもに強い影響力を持つといわれています。親が自信をもって、子どもの「しつけ」「教育」ができ、心身ともに健やかな子どもに育てるために、お互いいい父親、母親になるように家庭教育学級に参加しませんか。教育委員では多数の方々の参加を呼びかけています。詳しいことについては社会教育課にお問い合わせ下さい。

平成四年度沖縄県子ども育成連絡協議会総会が五月三十日嘉手納町中央公民館で開催された。

総会において嘉陽宗敬・今帰仁村子ども会育成連絡協議会副会長夫妻(個人の部)・天底・仲宗根子ども会(団体の部)が表彰された。

個人表彰は、十年以上にわたり子供会活動に尽くした人に贈られる賞で、嘉陽宗敬さんは多忙の中、昭和五十六年から子ども会役員として諸活動に携わり以後現在に至るまで活動に尽力された功績により今回の表彰となった。

また、影の力となって宗敬さんを支え、共になって活動に参加されたことに對し妻智枝子さんへ感謝状が贈られた。これからも子ども会や育成会の指導者として活躍が期待されます。

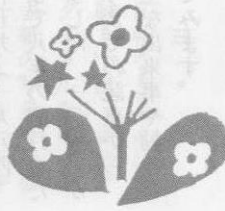
また、団体表彰は、五年以上にわたり計画的に活動を行ってきた団体に贈られる賞である。

天底子ども会・仲宗根子ども会のみなさんは、今回の受賞を励みに、さらに充実した健全育成活動を展開し、頑張っ

婦人会総会

限りある資源を大切に

美化コンクールで天底婦人会を表彰



平成4年度 今婦仁村婦人会定期総会

▲美しく住み良い村づくりのために

その後、平成三年度経過報告収支決算、平成四年度事業計画、収支予算を全会一致で承認した。

美しく住み良い村づくりのために、環境問題を取りあげ解決しよう」とあいさつ。

大会には、池原善治収入役、山城正義長・赤嶺千尋沖婦連会長・岸本ひさ北部婦連会長らが来賓として出席。

婦連会歌を斉唱の後、大城義子会長は「思いやりのある子を育て、今婦仁村の学力向上に取り組みましょう。各々の婦人会が連帯をもつて環境問題を取りあげ解決しよう」とあいさつ。

総会では、百人の会員が出席し住み良い村づくりの為に力を合わせて頑張ろうという意気込みが感じられる総会であった。

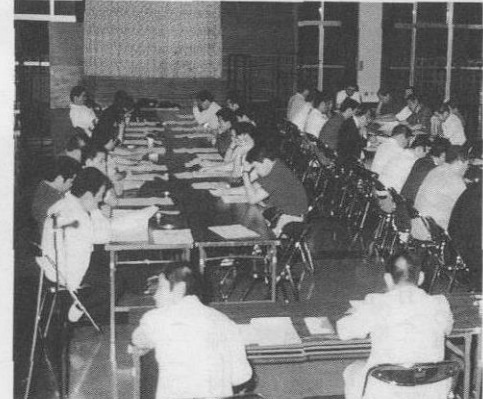
今婦仁村婦人会では「生活学校を強化し、美しく住み良い村づくりに努めよう」を合い言葉に四項目のスローガンを掲げ五月十八日村中央公民館において平成四年度定期総会を開催した。

団員名簿

階級	氏名
源亨也	雄栄辰
常保司	味菜名
利康正	那間袋安
夫也秀	嶺島平
薫太隆	謝仲平
明樹繁	花村良
敬弘也	城慶良
夫和好	渡金宇
和正成	幸玉浜
久一也	地城里
喜三有	里里城
和那男	城陽次
	井久地
	川実好
	那喜喜
	須間城
	里那那
	渡田田
	前田那
	我那那

本部町今婦仁村消防組合消防団(与那嶺雄源団長・団員八十三名)の平成四年度通常総会が五月八日午後七時半からコミュニティセンターで行なわれた。

総会には、五十名の団員が出席し、並里弘一副団長の開催のあいさつに続き、与那嶺雄源団長は「消防団の質の向上とさらなる発展の為に団結しよう。そして、地域住民の生命および財産を守る為協力していこう」とあいさつ。



▲一致団結、消防団総会

毎日が火の元警報発令中

本部町今婦仁村消防組合消防団総会

平成三年度事業報告、平成四年度事業計画などの案が提出され承認された。また、平成四年度入退団の辞令交付が行なわれ●久田弘喜●前田友三●我那覇和男の三氏が入団、今婦仁村の消防団の一員として、消防業務に携わることになった。

ひきつづき平成四年度役員改選が行なわれた。新役員は次のとおり。●会長―大城義子(謝名)●副会長―平田清子(古宇利)●書記―諸喜田スエ子(仲宗根)●会計―石嶺リエ子(平根) ●総会終了後、県立北部病院 敷。また、村婦人会が実施した美化コンクールで、天底婦人会が優秀な成績を納め、村代表として県婦人大会(八重山大会)で優秀賞を受賞した。総会終了後、懇親

医師の知念一先生が「乳ガンの早期発見について」と題したスライドをとおして講話。定期的な乳ガン検診の大切さをうたっていた。

会が行なわれ来賓として上間博安村長、仲宗根金禄消防議長が出席。 団員が和気あいあいと会話を交わし団員間の交流を図っていた。

『広報なきじん』二〇〇号を発行 今帰仁の出来事・動きを記録する

「広報なきじん」第一号の発行は昭和四八（一九七三）年でした。それから十九年という歳月を刻み、そして「広報なきじん」も今号で二〇〇号の発行を数えることになりました。一〇〇号は昭和五九（一九八四）年に発行され、「村民と共に歩んだ12年」として縮刷版の形でまとめられ重宝がられています。

今回の二〇〇号に至るまでには、昭和五九（一九八四）年から今まで八年の歳月をたどってきました。一〇一号から二〇〇号までの記事から、今帰仁の主な出来事や動きを振り返ってみます。

二

「広報なきじん」は、毎月一日付けで発行されてきました。ここまで表紙を写真でかざり、全体的に一〇一号から一四七号までは薄いピンク系統、一四八号から一八四号まではオレンジ系統、そして一

八五号から濃い茶系統へと変化し、また写真やカラー号を増やしたり、いろいろなところに担当者の工夫と個性が感じられます。

一〇一号の広報担当者は、表紙の写真を海岸や海・松並木など、今帰仁の自然（特に風景）をテーマに一四五号ま

でとりあげ、その後は今帰仁のタケノコやパイナップル、あるいはサトウキビ・花き栽培など今帰仁の産業を中心に扱っています。

また、一五二号からはフェリーいぜなの就航や古宇利架橋、あるいは森林公園の整備・トンネルの貫通など今帰仁

「広報なきじん」に見る八年間の動き

- 一九八四年四月（二〇一号） 生環林事業で遊歩道・植栽を実施
- 一九八四年五月（二〇二号） 澤原の洞窟（平敷）
- 一九八四年六月（二〇三号） 古宇利のホー岬
- 一九八四年七月（二〇四号） 暮らしを支える今泊の水源地
- 一九八四年八月（二〇五号） 緑におおわれた今帰仁城
- 一九八四年九月（二〇六号） こんこんと湧き出るピージャーガー
- 一九八四年十月（二〇七号） 運天の松並木
- 一九八四年十一月（二〇八号） 湧川のウンバラ地先
- 一九八四年十二月（二〇九号） 緑のある遊び場（今泊）
- 一九八五年一月（二一〇号） 多野岳から見た今帰仁村
- 一九八五年二月（二一一号） 断崖を上下に持つ県道72号線
- 一九八五年三月（二一二号） 運天港・今・昔
- 一九八五年四月（二一三号） 夏本番を待つ春の海
- 一九八五年五月（二一四号） イジの岩屋（仲尾次）
- 一九八五年六月（二一五号） 旧消防庁倉屋上から見た仲宗根
- 一九八五年七月（二一六号） 炬港（テミナト）
- 一九八五年八月（二一七号） 渡喜仁のビーチジャーガー
- 一九八五年九月（二一八号） シバンテナナのチヂイシ
- 一九八五年十月（二一九号） 渡海の浜（字古宇利）
- 一九八五年十一月（二二〇号） 投網の漁師
- 一九八六年七月（二二八号） シバンテナナ浜（今泊）
- 一九八六年八月（二二九号） ウスクミンジャ（潮汲場）
- 一九八六年九月（二三〇号） 海から帰る
- 一九八六年十月（二三一号） 珊瑚礁の干瀬
- 一九八六年十一月（二三二号） 海辺（ウンビ）
- 一九八六年十二月（二三三号） ウードウイバンタ
- 一九八七年一月（二三四号） 今泊のコパティシ
- 一九八七年二月（二三五号） 勢理客の御願所のクバ
- 一九八七年三月（二三六号） ブイブ（平敷）
- 一九八七年四月（二三七号） 運天の松並木
- 一九八七年五月（二三八号） チュラマツ（美しい松）
- 一九八七年六月（二三九号） 役場構内のガジュマル
- 一九八七年七月（二四〇号） 嶽御願（湧川）
- 一九八七年八月（二四一号） 謝名東大原の松並木
- 一九八七年九月（二四二号） 諸志のマンゴー
- 一九八七年十月（二四三号） 兼次パンタの松
- 一九八七年十一月（二四四号） 今泊集落の福木



「広報なきじん」の一部

村の出来事を幅広いテーマでとり上げています。一四九号から表紙のタイトルの上下のラインと目次が略され、一八五号から下の方にあった村の人口がタイトルのそばに移されるなど変化をみせます。

三

下段の「広報なきじん」に見る八年間の動きは、表紙でとり上げたタイトルを掲げたものです。表紙の写真や記事を見るだけでも村の大きな動きがわかります。他のページには、村長の年度の施政方針の内容、その年度の公共工事や主な事業などが掲載されています。また、コミュニティセンターの落成、総合運動公園や村営住宅の建設、また村の木・花・鳥・蝶・魚などが決まった（昭和六〇年）こと、スポーツなど多方面に渡って報告しています。

湧川・天底の村営住宅の人居がはじまり、おとば学園がスタート（昭和六一年）、海邦国体（昭和六一年）など様々な出来事が記録されています。また、村民カレンダーや若き後継者や今帰仁の歴史、さらに写真にみる今帰仁など

がシリーズで紹介され読み物として親しまれています。

四

このように、広報なきじんは村政の動きを知ることができると同時に、ある意味では今帰仁の出来事や動きを記録し、後世に伝えていく役目を担っています。今後、「広報なきじん」がさらに継続し、村民をはじめ多くの方々にますますご愛読・活用されることを願っています。



▲8年間で101号～200号が発行される



▲これまで発行された「広報なきじん」の一部

- 一九八五年十二月（二二一号） 仲尾次の石切場
- 一九八六年一月（二二二号） 運天港
- 一九八六年二月（二二三号） 軍艦石から兼次方面の風景
- 一九八六年三月（二二四号） ウサバマ（崎山）
- 一九八六年四月（二二五号） 軍艦石（岩）
- 一九八六年五月（二二六号） 与那嶺海岸
- 一九八六年六月（二二七号） ビットウグムイ
- 一九八六年七月（二二八号） シバンテナナ浜（今泊）
- 一九八六年八月（二二九号） ウスクミンジャ（潮汲場）
- 一九八六年九月（二三〇号） 海から帰る
- 一九八六年十月（二三一号） 珊瑚礁の干瀬
- 一九八六年十一月（二三二号） 海辺（ウンビ）
- 一九八六年十二月（二三三号） ウードウイバンタ
- 一九八七年一月（二三四号） 今泊のコパティシ
- 一九八七年二月（二三五号） 勢理客の御願所のクバ
- 一九八七年三月（二三六号） ブイブ（平敷）
- 一九八七年四月（二三七号） 運天の松並木
- 一九八七年五月（二三八号） チュラマツ（美しい松）
- 一九八七年六月（二三九号） 役場構内のガジュマル
- 一九八七年七月（二四〇号） 嶽御願（湧川）
- 一九八七年八月（二四一号） 謝名東大原の松並木
- 一九八七年九月（二四二号） 諸志のマンゴー
- 一九八七年十月（二四三号） 兼次パンタの松
- 一九八七年十一月（二四四号） 今泊集落の福木

- 一九八七年十二月(一四五号) 与那嶺アサギの松
- 一九八八年一月(一四六号) 今帰仁城跡からの夜明け
- 一九八八年二月(一四七号) 諸志のタケノコ
- 一九八八年三月(一四八号) 危機に立つパイン
- 一九八八年四月(一四九号) 基幹作物のサトウキビ
- 一九八八年五月(一五〇号) 花き栽培
- 一九八八年六月(一五一号) 畜産
- 一九八八年七月(一五二号) 海神祭(ハリー)
- 一九八八年八月(一五三号) 平和祈願祭
- 一九八八年九月(一五四号) 上間博安新村長が初登庁
- 一九八八年十月(一五五号) フェリーいぜな就航
- 一九八八年十一月(一五六号) 古宇利架橋建設促進村民総決起大会
- 一九八八年十二月(一五七号) 天底小学校創立一〇〇年を盛大に祝う
- 一九八九年一月(一五八号) 伸び続ける電照菊栽培
- 一九八九年二月(一五九号) ハウススイカの出荷始まる
- 一九八九年三月(一六〇号) 古宇利架橋の早期実現を要請

- 一九八九年四月(一六一号) 花き栽培
- 一九八九年五月(一六二号) デイゴ燃える
- 一九八九年六月(一六三号) 乙羽トンネル貫通
- 一九八九年九月(一六六号) 乙羽トンネル貫通
- 一九八九年十月(一六七号) 消防救急フェア盛大に行われる
- 一九八九年十一月(一六八号) 那覇マラソンで村出身者が二位、三位を占める
- 一九九〇年二月(一七一号) 今期のキビは豊作型
- 一九九〇年三月(一七二号) スイカどうもありがとう
- 一九九〇年四月(一七三号) ひなまつり
- 一九九〇年五月(一七四号) 各小学校で入学式
- 一九九〇年六月(一七五号) 乙羽岳にキャンプ場完成
- 一九九〇年七月(一七六号) 架橋実現に向けて語り合う
- 一九九〇年八月(一七七号) 青少年の主張大会
- 一九九〇年九月(一七八号) 世界のナギンチュウ歓迎の夕べ
- 一九九〇年十月(一七九号) 長寿今帰仁一は嘉陽マツさん
- 一九九〇年十一月(一八〇号) フェリー伊平屋運天港に就航
- 一九九〇年十二月(一八一号) 古宇利小学校が創立一〇〇周年
- 一九九一年一月(一八二号) 新年を迎えて
- 一九九一年二月(一八三号) 「ふれあい少年の翼」一行酒田市訪問
- 一九九一年三月(一八四号) 北山高生物クラブ連続優良賞
- 一九九一年四月(一八五号) 沖縄県地域史協議会今帰仁で開催する



▲高く評価されてきた「広報なきじん」

- 一九八九年七月(一六四号) 商工会館が落成
- 一九八九年八月(一六五号) ブドウ狩り始まる
- 一九八九年十二月(一六九号) 今帰仁中が総合で三連覇
- 一九九〇年一月(一七〇号) OTV「ふるさとヘッドライ」で
- 一九九一年五月(一八六号) 今帰仁村民プール完成
- 一九九一年六月(一八七号) 乙羽・呉我山トンネル開通
- 一九九一年七月(一八八号) 大田県政初の公聴会(古宇利)
- 一九九一年八月(一八九号) 少年野球北部大会
- 一九九一年九月(一九〇号) 北山高ロックバンド
- 一九九一年十月(一九一号) ボランティア協力校の天底小学校
- 一九九一年十一月(一九二号) 村内七カ字で豊年祭
- 一九九一年十二月(一九三号) 一九五〇年代のカラーズライド今帰仁へ
- 一九九二年一月(一九四号) 水田のある風景
- 一九九二年二月(一九五号) 新春ロードレース
- 一九九二年三月(一九六号) リゾート大学酒田村来村
- 一九九二年四月(一九七号) 少年少女ホッケー交流会
- 一九九二年五月(一九八号) 運天港を北部の拠点港に整備
- 一九九二年六月(一九九号) パンガローが完成
- 一九九二年七月(二〇〇号) 古宇利架橋

ありし日の今帰仁の風景

この度、メルビン・ハッキンズ氏(オレゴン州)から四

四二枚のカラーズライド写真とモノクロ(白黒)写真二六六コマが送られてきた(名城政健さん宛)。昨年十一月にも五百枚余り同様のスライド写真の提供があり、それに続きたスライド写真の中から、

今帰仁のありし日の風景を紹介してみることにする。

一枚目の写真は、今泊のエーガー(親川)の南側のハンタ原から大川原からニークン、そしてシユク原と崎原に至る風景である。中央部を東西に走る道路はスクミチ(現在の本部循環線)で、コーラの敷かれた道路を鼻のある

赤い昭和バスが走っている。ちよどバスの走っている付近には、現在でも松の並木が残っている。また、西側のスクミチ沿いのヌンドウルチモ

の松などが、わずかではあるが当時の風景の面影を偲ばせる。中央部を南北に流れる水路は、エーガーからクピリに流れ、その両側には水田が

広がっている。田植えの時期なのだろうか。水田には水が張られ、農家の人々にとって、まだまだ忙しいのである。うが、ゆつたりと心なごませしてくれる。手前の丘陵地まで畑として利用され、当期の状況がうかがえる。

当時の土地利用の様子をよく示すのが、二枚目の写真である。それは今泊の新田原から前田原にかけてで、その向こうの丘陵地は北大嶺原である。丘陵のほぼ頂上部まで畑として利用され、中腹あたり

そのサトウキビに白い花が咲き、季節は冬である。二期作の稲が刈り取られ、手前の水田は田おこしがなされ、荷車をひく人は冬姿である。後方の丘にある松はムラの人たちにとって良く知られた一本松であるが、今では土地改良により姿を消してしまった。

三枚目の写真は一九六一年の撮影である。エーガー付近で、そこからひいた水路で洗濯している姿がある。その向こうに、苗代で稲をひいている二人の姿。二期作の田植え時期であろうか。遠くに見える松の並木は、スクミチ(宿道)沿いの松である。

このような、三十年前のありし日の風景を写真にみてみると、その地に生まれ育ち、

そこで生涯を遂げた人たちの日々がどのようなものであったのか。それが写真の一コマというより歴史の一コマとしてとらえていきたい。そこに登場する人々が三十年、あるいは四十年たった現在を、当時どんな夢を描き予測していたのだろうか。何故か、そのことを無性に問いかけた気持ちにさせられる。

仲原 弘哲

(歴史資料館準備室)



▲ハンタ原から眺めた風景



▲新田原、前田原、さらに大嶺原を望む



▲エーガー(親川)からひかれた水路(1961年)

中村昇先生の教授(神戸大)昇任祝賀会

宇民多数が出席祝う

運天公民館での祝賀会



中村昇教授
(運天出身)



中村昇先生教授昇任おめでとう、宇民多数の出席のもと運天構造改善センターで祝賀会が催された。

祝賀会はカギヤテフーで幕が開け運天区長の開会のあいさつにつづいて発起人を代表して運天政徹議員は「このたびの教授昇任おめでとうございます。先生のような優秀な人材は、運天区民の誇りであります。先生の今後のご活躍に期待しています。」とあいさつ。

ソフトボールピッチング講習会 仲本講師・百二十キロ(野球換算百五十キロ) の速球を披露

今婦仁村教育委員会はソフトボールピッチング講習会を運動公園サブグラウンドで行なった。

講師には、海邦国体時の優勝投手、仲本平美代先生(北

これに対して中村教授は「宇民多数の方々に昇任を祝福していただき心より感謝申し上げます。勉強で大事な事は、環境であり、生まれ育った運天の環境が今の私であります。今後ともなお一層大学での研究活動に専念していきたい」と喜びを語っていた。

そのほか、運天敏信同級生代表のあいさつをはじめ、各代表による一分間スピーチ、老人クラブ等による余興などがあり、大勢の区民で、先生の教授昇任を祝った。

中村教授の経歴

- 昭和十七年運天(クンジャ)で出生。
- 天小↓今中↓北山高↓神戸大↓東京理科大
- 理学博士(東京大学)
- せい子夫人との間に二男一女

山高校教諭)と宮里義浩先生(北山高校教諭)をお招きして行なわれた。

講習会には、体育指導員、各字の壮年選手等、四十名が参加し、熱心に聞きいていた。

投球における重要ポイント(一)ボールの握り方(二)セットの仕方(三)ヒザの使い方(四)腰や腕の使い方など、講習会では、各々のポイントについて細かい説明が行なわれた。

このあと実技指導に移り個々のフォームをみてもらい、諸注意をうけ、参加者は、満足気に「良いフォーム」をくり返していた。

*仲本先生プロフィール

- 沖繩市出身
- 日体大卒
- 九州大会三回優勝
- 全日大学選手権優勝
- 海邦国体成年男子優勝など数々優勝があります。



▲実技指導後のピッチングフォーム、ナイスボール

2寄付

■村社会福祉協議会へ

- 嘉陽宗三さん(湧川五八六)から長男、宗政さんの香典返しとして五万円。
- 仲本一男さん(今泊一二五)から父、徳造さんの香典返しとして五万円。
- ※ご芳志ありがとうございます。

今帰仁村 税の作文・標語コンクールに ふるってご応募を

村では、次のとおり「税の作文・標語コンクール」を実施いたします。
 税の基本は、自主申告・自主納付ということにあり、正しく申告して納期内納付することが原則であります。そして取られる意識から進んで納めるという意識へ向上させることが、当面する税務行政の課題であります。そこで税に対する意識を深め、社会の仕組みを学ばせるといふ観点から、学校教育の場でも税制度について関心を持たせる必要があります。
 税の作文・標語コンクールは、日頃児童・生徒・一般村民が税にどのような関心と意識を持っているかということ把握するとともに、発表の場を提供することによって、税務行政のより一層の発展を期するために実施するものであります。

1. 応募資格
 - ① 作文部門：村内の小学生・中学生・高校生・一般村民
 - ② 標語部門：村内の小学生・中学生・高校生・一般村民
2. 応募期間：8月1日～9月15日
3. 実施主体：今帰仁村
4. テーマ

税に関するものであれば何でも結構ですが次のような例を参考にしてください。

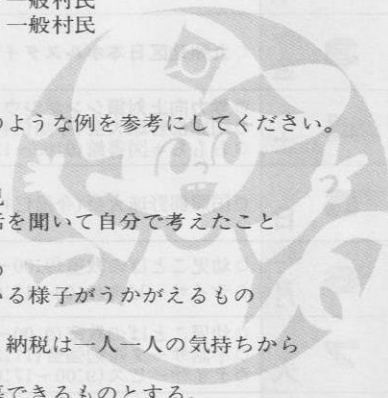
作文部門

 - 税や税務署、役場についての意見
 - 税について学校で学んだことについての意見
 - 税についての家族の体験談やまわりの方の話を聞いて自分で考えたこと

標語部門

 - 納税の意識向上につながるような力強いもの
 - リズムがあり、税が社会の中で活かされている様子がうかがえるもの

★例 むらづくり まずはあなたの 納税で
この社会 あなたの税が いきている 納税は一人一人の気持ちから
5. 応募点数と作成要領
 - ① 各部門とも一人1点とし、どの部門にも応募できるものとする。
 - ② 作文は1編1200字程度とし、400字詰原稿用紙を使用する。
 - ③ 標語はB-5判程度の白紙を使用する。
 - ④ 作文・標語とも末尾に住所・氏名・電話番号・年齢・学校名・学年を明記する。
 - ⑤ 募集についてはチラシ・広報・立看板を利用する。
6. 表彰
 - ① 各部門とも5～6点に優秀賞を与える。
 - ② 各部門の優秀者には、賞状と副賞（生徒には図書券、一般には記念品）を授与する。
 - ③ 応募者全員に参加賞を授与する。
7. 今後の活用
 - ① 優秀者は11月の納税表彰式で表彰する。
 - ② 優秀作品は、広報チラシ等で広く村民に紹介する。
 - ③ 標語は、立看板・納付通知書等に印刷し啓発を図る。
 - ④ 税を知る週間等で紹介する。



村長選挙・村議 会議員補欠選挙 八月十六日に投票

選挙管理委員会では、八月二十二日任期満了に伴う村長選挙の投票日を八月十六日に決定しました。

同時に村議会議員の欠員による補欠選挙も執行すること

選挙管理委員会では、八月二十二日任期満了に伴う村長選挙の投票日を八月十六日に決定しました。

立候補予定者の説明会を左記の日時に開催致しますので予定者は御出席下さい。

○日時―七月十七日・午後二時

○場所―村役場二階会議室

第10回今帰仁村ソフトボール選手権大会 北山クラブが初優勝



初優勝の北山クラブのみなさん

第十回今帰仁村ソフトボール選手権大会が総合運動公園サブグラウンドで開催され、参加チーム九チームにより五月十一日より五月十八日まで熱戦がくりひろげられた。

決勝戦は、北山クラブとナガタキチームが対戦した結果沖縄代表の投手（仲本平美代選手）を有する北山クラブが十一対四で初優勝した。

試合は、一回の裏北山クラブの巧打者津波古選手のヒットなどにより四点を先取、そのまま逃げ切るかと思われたがナガタキチームも三回・四回に反撃、白熱した試合とな

った。しかし、北山クラブは五回に追加点六回には照屋選手のだめ押し本塁打で試合を決めた。

惜しくも敗れたナガタキチームの伊野波盛市投手は、今大会出場選手中最高齢（失礼）で大活躍し、敢闘賞を受賞した。今後とも後輩のお手本となり活躍していただきたいと切に願う。

○殊勲賞―仲本平美代（北山クラブ）

○敢闘賞―伊野波盛市（ナガタキチーム）

○打撃賞一位―津波古廣和（北山クラブ）○二位―石川清隆（ナガタキチーム）

7月/文月

村民カレンダー

1992年



7/1 水	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○国民安全の日
2 木	○幼児ことばの教室(9:00~17:00)
3 金	○九州地区日本ホルスタイン研修会(コミセン)
4 土	○学力向上対策シンポジウム(14:00~コミセン) ○国頭郡野球大会(今帰仁村) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
5 日	○国頭郡野球大会(今帰仁村)
6 月	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
7 火	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○手話サークル勉強会(17:30~21:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
8 水	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
9 木	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)
10 金	○乳児検診(13:00~14:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)
11 土	○青少年の主張発表大会(14:00~コミセン)
12 日	○壮年ソフトボール大会(8:00~総合運動公園)
13 月	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)
14 火	○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
15 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)
16 木	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)

17 金	○安産教室、妊婦食実習(13:30~16:00中央公民館) ○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
18 土	○壮年ソフトボール大会(総合運動公園) ○講演(親子平和学習)復帰20周年記念(14:00~コミセン) ○勤労青少年の日
19 日	○国頭郡ソフトボール大会(恩納村)
20 月	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○海の記念日
21 火	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)
22 水	○高齢者学級(コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
23 木	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○ふみ月ふみの日
24 金	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
25 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
26 日	○参議院議員選挙
27 月	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)
28 火	○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン)
29 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
30 木	○幼児ことばの教室(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
31 金	
8/1 土	

■五月一日付で玉城区長が嘉陽宗栄さんから新城安昌さん(仲宗根二七八)にかわりました。これまで頑張ってきた嘉陽宗栄さん御苦労様でした。また、新区長の新城安昌さんに対しましてもみなさんの変わらぬご協力をお願いします。

■広報を担当して三ヶ月が過ぎ、相変わらず心に余裕のない毎日です。

梅雨明けの空のようにすっきりした気持ちになれるのはいつの日か。



新城安昌さん

玉城区長に
新城安昌さん

編集後記

